

令和 6 年度

養父市決算審査意見書

公営企業会計

養父市監査委員

- (注) 1 文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理をしているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
- また、各収支状況表において、前年度の実質収支額は「実質収支に関する調書」に基づいているため、当該年度の繰越額等とは一致しない場合があります。
- 2 文中及び表中、「収納率」と表示のあるものは「 $\text{収入済額} \div \text{調定額} \times 100$ 」を、「執行率」と表示のあるものは「 $\text{支出済額} \div \text{予算現額} \times 100$ 」を表しています。
- 3 図及び表中の年度表示は、元号を省略しているところがあります。
- 4 「0.0」・・・・・・該当数値はあるが単位未満（零を含む）のものを表す。
- 5 「-」・・・・・・該当数値のないものを表す。



養 監 第 17 号
令和 7 年 8 月 8 日

養父市長 大 林 賢 一 様

養父市監査委員 津 崎 智 宏

養父市監査委員 田 路 之 雄

令和 6 年度公営企業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和 6 年度養父市水道事業会計及び令和 6 年度養父市下水道事業会計決算の決算書並びに関係諸帳簿、証拠書類等を審査した結果、次のとおり意見を付する。

第 1 審査の対象

- (1) 令和 6 年度 養父市水道事業会計決算
- (2) 令和 6 年度 養父市下水道事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 7 年 6 月 25 日から 7 月 25 日まで

第 3 審査の方法

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書が法令に準拠して調製されているか、計数は正確であるか、更に事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているか、かつ効率的に執行されたかに主眼をおき審査を実施した。

併せて事業経営内容の実情把握のため、担当部局へ提出資料を求めるとともにヒアリングによる数値分析を行い、事業の動向と推移を検証した。

第 4 審査の結果

公営企業会計の決算審査の結果は、以下のとおりである。

審査に付された会計の決算諸表の記載様式及び記載事項は、法令に従って作成されており、その計数は正確であり、経営状況及び財政状況をおおむね適正に表示している。

目 次

	ページ
第1 養父市水道事業会計	1
1 総括	1
2 事業の概要	1
3 決算状況	2
4 貸借対照表	3
5 損益計算書	4
6 繰出金の基準額と実繰出額	5
7 審査意見	5
第2 養父市下水道事業会計	6
1 総括	6
2 事業の概要	6
3 決算状況	6
4 貸借対照表	8
5 損益計算書	9
6 繰出金の基準額と実繰出額	10
7 審査意見	10

第1 養父市水道事業会計

1 総括

令和6年度の水道事業決算額（消費税抜き）は、収益的収入が748,564千円に対し、収益的支出は767,098千円となり18,534千円の純損失となった。その結果、当年度未処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金103,730千円に純損失を加えた85,196千円となっている。

2 事業の概要

令和6年度の事業概要は次表のとおりである。

区 分		令和6年度	令和5年度	前年度比較
計 画 給 水 人 口 (人)		24,311	24,311	0
給 水 人 口 (人)		20,806	21,268	△462
給 水 戸 数 (戸)		10,389	10,452	△63
配 水 量	年間総配水量 (m ³)	2,990,518	3,017,234	△26,716
	1日最大配水量 (m ³)	12,597	11,041	1,556
	1日平均配水量 (m ³)	8,193	8,244	△51
有 収 水 量	年間総有収水量 (m ³)	2,381,382	2,405,351	△23,969
	1日平均有収水量 (m ³)	6,524	6,572	△48
	有 収 率 (%)	79.6	79.7	△0.1
供 給 単 価 (円/m ³)		203.64	203.34	0.30
給 水 原 価 (円/m ³)		269.81	278.23	△8.42

本年度は、給水人口20,806人、給水戸数10,389戸、年間総配水量2,990,518 m³で、前年度と比べ給水人口で462人(2.2%)減少、給水戸数で63戸(0.6%)減少となり、年間総配水量も26,716 m³(0.9%)減少した。

供給単価は203.64円/m³で対前年度比0.30円(0.1%)増加したが、給水原価は269.81円/m³で対前年度比8.42円(3.0%)減少している。年間総有収水量は2,381,382 m³で前年度に比べ23,969 m³(1.0%)減少し、1日平均有収水量は前年度に比べ48 m³減少し6,524 m³であった。有収率は、前年度に比べて0.1ポイント減少し79.6%となった。

3 決算状況 (税抜き)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 水道事業収益	748,564,281	880,864,484	△132,300,203	△15.0
1 項 営 業 収 益	490,512,244	494,098,440	△3,586,196	△0.7
2 項 営 業 外 収 益	258,052,037	386,766,044	△128,714,007	△33.3
1 款 水道事業費用	767,098,220	899,331,705	△132,233,485	△14.7
1 項 営 業 費 用	737,197,812	747,172,874	△9,975,062	△1.3
2 項 営 業 外 費 用	29,126,587	53,373,160	△24,246,573	△45.4
3 項 特 別 損 失	773,821	98,785,671	△98,011,850	△99.2

(収 入)

令和6年度の水道事業収益は748,564千円となり、前年度に比べ132,300千円(15.0%)減少した。水道料金484,941千円など営業収益490,512千円と、一般会計補助金126,313千円など営業外収益258,052千円を収益した。

(支 出)

令和6年度の水道事業費用は767,098千円となり、前年度に比べ132,233千円(14.7%)減少した。職員人件費や施設の維持管理費のほか、減価償却費や企業債償還利息などを支出した。

(2) 資本的収入及び支出(税込み)

資本的収入の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 資本的収入	108,831,375	1,053,373,176	△944,541,801	△89.7
1 項 企業債	20,000,000	9,300,000	10,700,000	115.1
3 項 工事負担金	870,400	—	870,400	皆増
4 項 国庫補助金	10,506,000	—	10,506,000	皆増
5 項 出資金	77,454,975	1,044,073,176	△966,618,201	△92.6

資本的収入は、企業債、出資金等の合計108,831千円を収入し、対前年度比944,542千円(89.7%)減少した。

令和5年度は企業債の繰上償還を行ったため、一般会計から基準外の出資金1,028,670千円を受けていたことにより、大幅な増加となっていたが令和6年度は繰上償還を行っていないため減少となった。

資本的支出の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 資本的支出	313,061,625	1,264,873,604	△951,811,979	△75.2
1 項 建設改良費	42,483,700	14,303,300	28,180,400	197.0
2 項 企業債償還金	270,577,925	1,250,570,304	△979,992,379	△78.4

資本的支出は、建設改良費と企業債償還金の合計 313,062 千円を支出し、対前年比 951,812 千円の減少となった。

減少の主な要因は、令和5年度は企業債の繰上償還を 930,094 千円行ったことである。令和6年度は繰上償還を行っていない。

4 貸借対照表 (税抜き)

比較貸借対照表は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
固定資産	7,928,238,806	8,391,408,703	△463,169,897	△5.5
有形固定資産	7,923,670,506	8,386,840,403	△463,169,897	△5.5
無形固定資産	4,568,300	4,568,300	0	0.0
流動資産	2,202,389,332	1,910,876,856	291,512,476	15.3
現金預金	1,870,282,345	1,806,272,515	64,009,830	3.5
未収金	324,163,036	97,552,447	226,610,589	232.3
貯蔵品	7,943,951	7,051,894	892,057	12.6
資産合計	10,130,628,138	10,302,285,559	△171,657,421	△1.7
固定負債	2,222,102,044	2,456,672,716	△234,570,672	△9.5
企業債	2,222,102,044	2,456,672,716	△234,570,672	△9.5
流動負債	461,201,370	344,841,972	116,359,398	33.7
企業債	254,537,174	270,544,427	△16,007,253	△5.9
未払金	200,842,393	69,917,065	130,925,328	187.3
預り金	1,480	1,480	0	0.0
引当金	5,820,323	4,379,000	1,441,323	32.9
繰延収益	1,782,400,632	1,894,767,815	△112,367,183	△5.9
長期前受金	3,827,887,961	3,816,590,689	11,297,272	0.3
収益化累計額	△2,045,487,329	△1,921,822,874	△123,664,455	6.4
負債合計	4,465,704,046	4,696,282,503	△230,578,457	△4.9
資本金	5,348,591,705	5,271,136,730	77,454,975	1.5
自己資本金	5,348,591,705	5,271,136,730	77,454,975	1.5
剰余金	316,332,387	334,866,326	△18,533,939	△5.5
資本剰余金	11,306,554	11,306,554	0	0.0

利益剰余金	305,025,833	323,559,772	△18,533,939	△5.7
資本合計	5,664,924,092	5,606,003,056	58,921,036	1.1
負債・資本合計	10,130,628,138	10,302,285,559	△171,657,421	△1.7

5 損益計算書（税抜き）

比較損益計算書は、次表のとおりである。

（単位：円、％）

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
営業収益	490,512,244	494,098,440	△3,586,196	△0.7
給水収益	484,940,784	489,097,337	△4,156,553	△0.8
その他の営業収益	5,571,460	5,001,103	570,357	11.4
営業費用	737,197,812	747,172,874	△9,975,062	△1.3
原水及び浄水費	136,362,992	113,823,525	22,539,467	19.8
配水及び給水費	62,019,113	54,789,321	7,229,792	13.2
総 係 費	36,894,794	44,596,526	△7,701,732	△17.3
減価償却費	501,791,443	533,854,542	△32,063,099	△6.0
その他営業費用	129,470	108,960	20,510	18.8
営業損失	246,685,568	253,074,434	△6,388,866	△2.5
営業外収益	258,052,037	386,766,044	△128,714,007	△33.3
受取利息	953	1,158	△205	△17.7
加 入 金	3,290,908	3,363,634	△72,726	△2.2
補 助 金	126,313,294	247,377,585	△121,064,291	△48.9
長期前受金戻入	123,664,455	131,197,766	△7,533,311	△5.7
雑 収 益	4,782,427	4,825,901	△43,474	△0.9
営業外費用	29,126,587	53,373,160	△24,246,573	△45.4
支払利息	28,534,034	43,720,273	△15,186,239	△34.7
雑 支 出	592,553	9,652,887	△9,060,334	△93.9
経常利益（損失）	△17,760,118	80,318,450	△98,078,568	△122.1
特別損失	773,821	98,785,671	△98,011,850	△99.2
過年度損益修正損	773,821	209,557	564,264	269.3
その他特別損失	0	98,576,114	△98,576,114	皆減
当年度純利益（損失）	△18,533,939	△18,467,221	△66,718	0.4
前年度繰越利益剰余金	103,730,258	122,197,479	△18,467,221	△15.1
当年度未処分利益剰余金	85,196,319	103,730,258	△18,533,939	△17.9

当年度純損失は△18,534千円で、前年度繰越利益剰余金103,730千円に純損失を加えた当年度未処分利益剰余金は、85,196千円となっている。

6 繰出金の基準額と実繰出額

(単位：円)

年 度	繰出基準額	実繰出額	差 額
令和6年度	207,577,269	207,577,269	0
令和5年度	266,590,147	1,295,259,761	1,028,669,614
比 較	△59,012,878	△1,087,682,492	△1,028,669,614

*令和5年度は、企業債の繰上償還を行ったため、基準外の繰出金(1,028,669,614円)があったが、令和6年度は繰上償還を行っていない。

7 審査意見

(1) 事業の状況について

令和6年度末の給水人口は20,806人で対前年度比462人減(△2.2%)、給水戸数は10,389戸で対前年度比63戸減とそれぞれ減少している。

年間総配水量は2,990,518 m³で対前年度比26,716 m³(0.9%)の減少、年間有収水量は2,381,382 m³で対前年度比23,969 m³(1.0%)の減少となり、有収率は79.6%で前年度79.7%と比較し0.1ポイント減少した。

また、給水人口、給水戸数とも昨年度に比べ減少しているが、これは、少子化による自然減と転出による社会減が大きな要因であり、今後も減少傾向が続くと考えられる。

建設改良事業の状況は、宿南配水池濁度計設置工事・大塚浄水場膜ろ過設備タッチパネル更新工事などを施工した。

(2) 損益の状況について

令和6年度の収益的収入は、総額748,564千円となり、前年度880,864千円と比較して132,300千円の減収となった。そのうち営業収益は、490,512千円となり、前年度494,098千円と比較して3,586千円の減収となった。営業外収益は、令和5年度には、繰上償還の補償金に伴う基準外の一般会計補助金の繰り入れがあったが、皆減となったため258,052千円となり、前年度386,766千円と比較して128,714千円の減収となった。

収益的支出については、総額767,098千円となり、前年度899,332千円と比較して132,234千円の減額となった。この結果、本年度は18,534千円の純損失が生じ、当年度末処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金103,730千円から純損失を差し引いた85,196千円となった。

近年、水道料金の未収金が増加傾向にあり、昨年度に続き今年度においても不能欠損処理を行っているにもかかわらず、過年度の未収金額は41,590千円となっている。

今後、給水人口の減少等、水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しているため、滞納者に対する督促態勢を強化し、未収金の削減に努められたい。

なお、決算処理において、本来なら期末までに下水道事業会計から返済される短期貸付金の受理確認を失念し、貸借対照表において未収金として計上しているため、今後においては、決算処理にかかるチェック体制を見直しするなどして適正な事務処理を実施されたい。

第2 養父市下水道事業会計

1 総括

令和6年度の下水道事業決算額（消費税抜き）は、事業収益 1,061,336 千円に対し、事業費用は 1,075,234 千円となった。その結果、13,897 千円の純損失が生じ、当年度未処理欠損金は 174,002 千円となった。

2 事業の概要

令和6年度の事業概要は次表のとおりである。

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比較
年度末行政区域内人口（人）	19,946	20,362	△416
年度末処理区域内人口（人）	19,946	20,362	△416
年度末接続人口（人）	19,424	19,803	△379
年度末接続世帯数（世帯）	8,307	8,339	△32
年度末接続率（%）	97.4	97.3	0.1
年間総処理水量（m ³ ）	2,209,439	2,149,376	60,063
年間総有収水量（m ³ ）	2,090,048	2,112,058	△22,010
有 収 率（%）	94.6	98.3	△3.7

当年度末の接続人口は 19,424 人、接続率は 97.4%であった。当年度の年間総処理水量は 2,209,439 m³で、これに対する年間有収水量は 2,090,048 m³となり、有収率は 94.6%となった。

3 決算状況（税抜き）

（1）収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の状況は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 下水道事業収益	1,061,336,441	1,095,143,628	△33,807,187	△3.1
1 項 営 業 収 益	430,483,292	433,341,633	△2,858,341	△0.7
2 項 営 業 外 収 益	630,853,149	661,801,995	△30,948,846	△4.7
1 款 下水道事業費用	1,075,233,622	1,104,525,080	△29,291,458	△2.7
1 項 営 業 費 用	991,552,366	1,006,265,746	△14,713,380	△1.5
2 項 営 業 外 費 用	82,699,320	97,108,977	△14,409,657	△14.8
3 項 特 別 損 失	981,936	1,150,357	△168,421	△14.6

（収 入）

令和6年度の下水道事業収益は 1,061,336 千円で、下水道使用料 429,477 千円など営業収益 430,483 千円と、一般会計からの補助金 338,839 千円など営業外収益 630,853 千円を収入した。

(支 出)

令和6年度の下水道事業費用は1,075,234千円で、職員人件費や施設の維持管理費のほか、減価償却費や企業債償還利息などを支出した。

(2) 資本的収入及び支出(税込み)

資本的収入の状況は、次表のとおりである。

(単位:円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 資本的収入	1,013,616,997	781,812,746	231,804,251	29.6
1 項 企 業 債	665,300,000	546,300,000	119,000,000	21.8
2 項 出 資 金	127,754,747	126,530,071	1,224,676	1.0
3 項 補 助 金	220,562,250	107,072,050	113,490,200	106.0
4 項 負 担 金	—	1,910,625	△1,910,625	皆減

資本的収入は、建設改良費等の財源に充てるための企業債、一般会計からの出資金、国県等からの補助金の合計1,013,617千円を収入し、対前年度比231,804千円(29.6%)増加した。

資本的支出の状況は、次表のとおりである。

(単位:円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
1 款 資本的支出	1,300,356,116	1,083,696,833	216,659,283	20.0
1 項 建設改良費	442,498,281	214,481,537	228,016,744	106.3
2 項 企業債償還金	857,857,835	869,215,296	△11,357,461	△1.3

資本的支出は、建設改良費及び企業債の償還に合計1,300,356千円を支出し、対前年比216,659千円(20.0%)の増加となった。

増加の主な要因は、建設改良費の増加によるものである。

4 貸借対照表 (税抜き)

比較貸借対照表は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
固定資産	19,273,177,491	19,581,981,854	△308,804,363	△1.6
有形固定資産	19,272,601,491	19,581,405,854	△308,804,363	△1.6
無形固定資産	576,000	576,000	0	0.0
流動資産	1,168,777,652	686,623,798	482,153,854	70.2
現金預金	841,618,419	553,395,196	288,223,223	52.1
未収金	327,159,233	133,228,602	193,930,631	145.6
資産合計	20,441,955,143	20,268,605,652	173,349,491	0.9
固定負債	4,874,113,399	5,041,820,674	△167,707,275	△3.3
企業債	4,874,113,399	5,041,820,674	△167,707,275	△3.3
流動負債	1,396,001,989	1,083,140,613	312,861,376	28.9
企業債	832,950,916	857,801,476	△24,850,560	△2.9
未払金	557,010,774	220,100,748	336,910,026	153.1
預り金	3,720	3,720	0	0.0
引当金	6,036,579	5,234,669	801,910	15.3
繰延収益	7,553,882,725	7,639,544,901	△85,662,176	△1.1
長期前受金	10,309,605,052	10,117,110,249	192,494,803	1.9
収益化累計額	△2,755,722,327	△2,477,565,348	△278,156,979	11.2
負債合計	13,823,998,113	13,764,506,188	59,491,925	0.4
資本金	6,371,483,682	6,243,728,935	127,754,747	2.0
固有資本金	4,948,955,464	4,948,955,464	0	0.0
繰入資本金	1,422,528,218	1,294,773,471	127,754,747	9.9
剰余金	246,473,348	260,370,529	△13,897,181	△5.3
資本剰余金	420,475,357	420,475,357	0	0.0
利益剰余金	△174,002,009	△160,104,828	△13,897,181	8.7
資本合計	6,617,957,030	6,504,099,464	113,857,566	1.8
負債・資本合計	20,441,955,143	20,268,605,652	173,349,491	0.9

5 損益計算書 (税抜き)

比較損益計算書は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	決 算 額		対前年度	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
営業収益	430,483,292	433,341,633	△2,858,341	△0.7
使用料	429,477,111	433,118,616	△3,641,505	△0.8
その他の営業収益	1,006,181	223,017	783,164	351.2
営業費用	991,552,366	1,006,265,746	△14,713,380	△1.5
管 渠 費	44,437,755	43,905,976	531,779	1.2
処 理 場 費	202,925,402	214,868,496	△11,943,094	△5.6
総 係 費	32,294,473	35,747,451	△3,452,978	△9.7
減 価 償 却 費	703,878,399	701,539,023	2,339,376	0.3
資 産 減 耗 費	8,016,337	10,204,800	△2,188,463	△21.4
営業損益	△561,069,074	△572,924,113	11,855,039	△2.1
営業外収益	630,853,149	661,801,995	△30,948,846	△4.7
負 担 金	5,568,168	6,363,616	△795,448	△12.5
補 助 金	338,839,424	360,944,345	△22,104,921	△6.1
長期前受金戻入	286,173,316	294,488,980	△8,315,664	△2.8
雑 収 益	272,241	5,054	267,187	5,286.6
営業外費用	82,699,320	97,108,977	△14,409,657	△14.8
支 払 利 息	82,547,039	94,596,049	△12,049,010	△12.7
雑 支 出	152,281	2,512,928	△2,360,647	△93.9
経常利益 (損失)	△12,915,245	△8,231,095	△4,684,150	56.9
特別損失	△981,936	△1,150,357	168,421	△14.6
過年度損益修正損	△981,936	△1,150,357	168,421	△14.6
当年度純利益 (損失)	△13,897,181	△9,381,452	△4,515,729	48.1
前年度繰越欠損金	160,104,828	150,723,376	9,381,452	6.2
当年度未処理欠損金	174,002,009	160,104,828	13,897,181	8.7

当年度純損失は13,897千円で、前年度繰越欠損金160,105千円を加算した当年度未処理欠損金は174,002千円となっている。

6 繰出金の基準額と実繰出額

(単位：円)

年 度	繰出基準額	実繰出額	差 額
令和 6 年度	466,594,171	471,040,171	4,446,000
令和 5 年度	481,174,416	481,174,416	0
比 較	△14,580,245	△10,134,245	4,446,000

7 審査意見

(1) 事業の状況について

令和 6 年度末の接続人口は 19,424 人、接続率は 97.4%で対前年度比 0.1 ポイント増加した。

年間総処理水量は 2,209,439 m³でこれに対する年間有収水量は 2,090,048 m³となり、有収率は 94.6%で前年度対比は 3.7 ポイント減少した。

建設改良では、長寿命化対策事業として、八鹿浄化センター長寿命化対策工事、養父 3 地区・養父 4 地区機能強化対策工事、その他の工事として下水道施設情報伝送システム設備工事等を実施した。

また、今年度は沈砂車（2 t 級）を 1 台購入した。

(2) 損益の状況について

令和 6 年度の収益的収入は、総額 1,061,336 千円となり、前年度 1,095,144 千円と比較して 33,807 千円の減収となった。営業収益は 430,483 千円となり、前年度 433,342 千円と比較して 2,858 千円の減収となった。

営業外収益は、一般会計補助金や長期前受金の減額等により 630,853 千円となり、前年度 661,802 千円と比較して 30,949 千円の減収となった。

収益的支出は、委託費等の減額等により総額 1,075,234 千円となり、前年度 1,104,525 千円と比較して 29,291 千円の減額となった。

この結果、本年度は 13,897 千円の純損失が生じ、当年度末処理欠損金は、前年度繰越欠損金 160,105 千円に純損失を加えた 174,002 千円となった。

水道事業会計と同様、下水道料金の未収金についても増加傾向にあり、昨年度に続き今年度においても不能欠損処理を行っているにもかかわらず、過年度の未収金額は 38,352 千円となっている。

なお、決算処理において、期末までに水道事業会計へ返済すべき一時借入金の決算処理を失念し、貸借対照表において未払金に計上している。また、「令和 6 年度養父市下水道事業報告書」への記載不備などもあり、決算書類作成における確認・検証の不徹底が見受けられた。今後においては、決算処理にかかるチェック体制を見直しするなどして適正な事務処理を実施されたい。